

第 14 回 世界フェアトレード・デー・なごや

協賛のご案内

令和 5 年 12 月 23 日

世界フェアトレード・デー・なごや実行委員会

実行委員長 鈴木日奈子

目次

1. 団体紹介・イベント概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1-1 世界フェアトレード・デー・なごや実行委員会	
1-2 「世界フェアトレード・デー・なごや」についてと開催の目的	
1-3 フェアトレードとは	
1-4 フェアトレードタウン名古屋	
2. 2023 年開催時の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2-1 コーヒー・サミット	
2-2 フェアトレード・マルシェ	
2-3 フェアトレード・ステージ「お買い物で世界を変えよう！」	
2-4 ワークショップ	
2-5 学生企画	
2-6 フェアトレードコインの導入	
3. 2024 年の企画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

1. 団体紹介・イベント概要

1-1 世界フェアトレード・デー・なごや実行委員会とは

フェアトレード推進イベント、「世界フェアトレード・デー・なごや」を企画・運営する任意団体。毎年、中・高・大学生、フェアトレード商品を取り扱っている店舗の方、その他有志でメンバーを構成

1-2 「世界フェアトレード・デー・なごや」についてと開催の目的

5月の第2土曜日は「世界フェアトレード・デー」。フェアトレード月間である5月周辺は、世界中で様々なフェアトレード推進イベントが同時開催され、名古屋でも開催しています。名古屋のイベントは、2024年度で14回目を迎えます。トークショー、ライブ、マルシェなど様々なコンテンツで参加者に楽しんでもいただきながら、世界の問題に気づき、国際協力・地域貢献、生物多様性の理解、自然環境や伝統工芸の保護などの呼び掛けを目的としています。

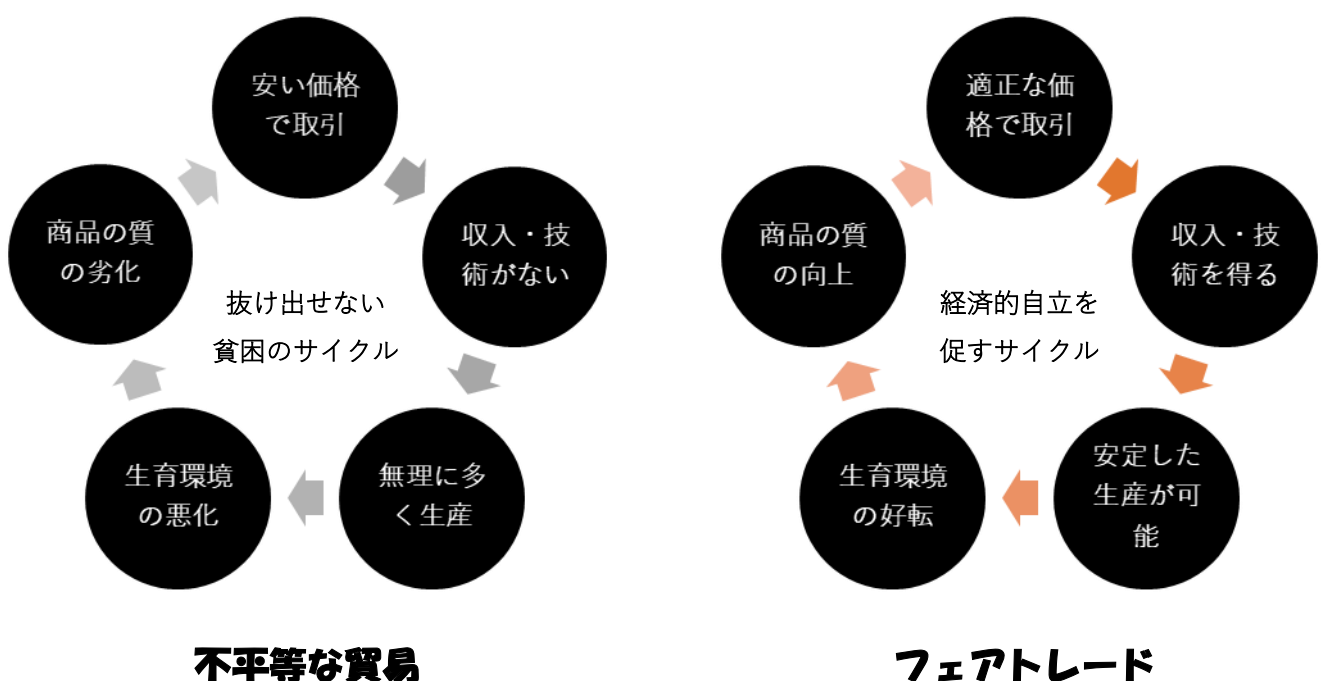
<開催概要>

【日時】2024年5月4日（土）10:00～18:00

【場所】ヒサヤオオドリパーク シバフヒロバ

1-3 フェアトレードとは

私たちの生活に欠かせない食べ物や衣類などを含めた日用品の中には、開発途上国とされる国々で生産されており、驚くほど安い価格で購入できる物があります。その背景には、正当な対価が生産者に支払われなかったり、生産性をあげるために必要以上の農薬が使用され環境が破壊されたり、生産者の健康に害を及ぼしたりといった事態が起こっています。フェアトレードとは「公平・公正な貿易」を意味し、上記の現状を打開する「貿易のしくみ」のことです。開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入し、立場の弱い生産者や労働者の生活改善と自立を目指しています。



1-4 フェアトレードタウン名古屋

フェアトレードタウンとは、町・市ぐるみでフェアトレードを応援する地域のことです。日本では、熊本市・名古屋市・逗子市・浜松市・札幌市・いなべ市の6つが認定されており、岐阜県垂井町・新潟市岡山市・千葉県館山市・千葉市・北九州市・島根県松江市・武蔵野市・世田谷区・愛知県大府市・石川県金沢市・北海道苫小牧市・徳島県石井町・長野県長野市もタウン認定を目指しています。名古屋市は2015年に認定され、認定後もタウン持続に向けて、さらなる活動を展開し、フェアトレードの思いを伝え続け、おもいやり貿易で地域と世界がつながる国際都市なごやを目指しています。人通りが多く、地域の人々の憩いの場でもある、名古屋のど真ん中の栄にあるヒサヤオオドリパークでイベントをすることで、更なるフェアトレードの認知度向上、街ぐるみでの推進活動普及に繋がると考えています。

2. 2023 年開催時の実績

来場者数：1,500 人

2-1 コーヒー・サミット

参加者：250 人（コロナ前：800 人）

生産地とのつながりを育む美味しいコーヒーの飲みくらべ企画。コーヒー出店者は、コーヒー豆の生産地を思いやるフェアなトレードで本物の美味しさを求める方々。フェアトレード認証だけでなく、ダイレクトトレード・コミュニティトレード・オーガニック（有機無農薬）・サステナビリティ（持続可能性）・トレーサビリティ（透明性）・スペシャリティーコーヒーなど、フェアトレードの理念で、世界の生産地から届くこだわりのコーヒーを、参加者はオリジナルマグカップを手に 5 杯まで飲みくらべできます。コーヒー本来の魅力を伝え、フェアトレードの理念で私たちの元へ届くおいしいコーヒーを味わっていただくこと、その背景には様々な国・地域・農園があり、そこで生活を営む現地の生産者がいることを参加者に知っていただくことを目的としています。



2-2 フェアトレード・マルシェ「お買い物で世界を変えよう！」

諸外国の生産者が抱える問題の解決に繋がる、人・環境・社会に優しいフェアトレードの理念に則した商品を扱う店が約 30 店舗出店。食べ物・雑貨・アクセサリーなど、温もりあふれる品々が集結しました。



2-3 フェアトレード・ステージ

NPO 団体や学生サークル、関連企業の方々が登壇し、エシカルや SDGs、アップサイクルなど、付随するテーマを交えつつ、フェアトレードを多方向から語っていただきました。また、講演の最中にフェアトレードに関する、景品ありのクイズを出題。最後には、実用的なフェアトレード雑貨やオーガニック原料のお菓子が当たる抽選会を行い、フェアトレードの知識の有無に拘わらず、誰もが楽しめるプログラムで大いに盛り上がりしました。



2-4 ワークショップ

小さい子供から大人まで気軽に体験出来るワークショップを5種類用意。前回のテーマである「フェアトレードを生活にブレンドする」をコンセプトに、体験後の実用性に重点を置きました。また、家族や友人に、会場で購入した製品を手作りのラッピングでプレゼントできる企画も用意。フェアトレードクレヨンとバナナペーパーを使ったメッセージカード作りや新聞を使ったペーパーバッグ作りの体験を楽しんでいただきました。



2-5 学生企画

①クイズ

ステージで3回クイズを出題。正解数に応じて景品（レモン飴・ハートチョコ）贈呈

②抽選会

フェアトレード製品がもらえる抽選会。

参加資格：SNSで「#フェアトレードを生活にブレンドしよう」をつけて投稿

景品：出店者からの寄付

③スタンプラリー

会場内をぐるっと一周できるスタンプラリー。3つ全部集めると、プレゼント企画のラッピング用のフェアトレードコットンバッグ割引 or ペーパーバッグプレゼント

2-6 フェアトレードコインの導入

フェアトレードコイン：フェアトレードやエシカルな想いをを持った「フェアトレードコイン参加店」のみで使用可能な、支払いと応援（チップ）ができる電子マネー

コーヒー・マルシェ・ワークショップ全店舗で支払い可能にし、認知を広めました

3. 2024年の企画

「世界フェアトレードの旅」をテーマに、フェアトレード製品が”どこ”から来たのかにフォーカスし、国・地域・産地を知ってもらうことで、1人1人がフェアトレードや世界の人や国々とのような関わりができるのか、どのように貢献できるのかをイメージでき、フェアトレード製品を通して、世界中を旅しているような体験ができるイベントにしようと考えています。

メイン企画の「コーヒー飲みくらべ」、定番企画の「フェアトレード・マルシェ」「フェアトレード・ステージ」「ワークショップ」に加え、購入した製品がどこの国で生産されたのかマッピングしてフェアトレードの地図を作る参加者協力型の企画や、フェアトレード製品があたる抽選会などを学生中心に企画中です。フェアトレードコインの導入も引き続き行います。